

送辞

頬に触れる風が和らぎ、春の足音が徐々に近づいてきています。今日の良き日に、卒業を迎えられた三年生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。在校生一同、心よりお祝い申し上げます。

今、皆さんはこの高梁高校での貴重な三年間を振り返り、様々な思いを抱かれていますのではないのでしょうか。仲間とともに高め合った日々への充足感、今日まで全力で突き進んでこられた誇りが先輩方を輝かせているのだと思います。そんな先輩方の輝きは、私たちの目標でもあります。

そんな先輩方と過ごした日々が昨日のことにように思い出されます。高梁高校に入学し、不安でいっぱいだった私たちに寄り添いながら、先輩方は進むべき方向へと手を引き、導いてくださいました。

今年度の松籟祭では、三年生の先輩方を中心とした盛り上がり、学校中に活気をもたらしました。各クラスの合唱では、気持ちさがそろった歌声で初日から先輩方の気迫に圧倒されました。また、限られた準備期間で、ブロックの団結を深めるため全力を尽くされ、一、二年生を奮い立たせてくださいました。結団式からエンディングまで、一つひとつの事を楽しみながら果敢に取り組まれる姿に、先輩方の偉大さを感じ、クラスやブロックの枠を超えた最高の松籟祭になりました。

また、部活動では、机に向かっているだけでは学ぶことのできない貴重なことを、先輩方と関わる中で学びました。目標に向かって努力するすばらしさ、仲間同士の関わり方、最後まで諦めない志など、多くのことを教わりました。先輩方と共に過ごした時間が、とても価値のある時間であったことを今、ひしひしと感じています。

普段の学校生活の中でも、先輩として、タカ高生としてのあるべき姿を示し続けてくださいました。地元の行事に積極的に参加される姿や、放課後、先生方に何度も質問し進路学習室で学習に励む姿から、私たちも頑張らなければならないと襟を正される思いになりました。

そんな先輩方の姿をこの高梁高校で見られるのは、今日で最後です。目標としている後姿が見えなくなってしまうことが、とても淋しく感じられます。それとともに、在校生の私たちが先輩方の思いを受け継がなければならない責任も強く感じています。不安な部分も多ありますが、一歩でも先輩方に近づけるように日々精進していきます。

これから新たな道を進んでいかれる先輩方は、希望に胸を膨らませていらっしゃると思います。時には悩んだり、挫けそうになることもあるかもしれませんが、しかし、壁にぶつかることがあっても、今まで過ごした時間を糧に乗り越えていってください。その一つひとつが先輩方の輝かしい未来へとつながっていくと思います。それぞれの思い描く将来に向かって、歩み続けてください。

今まで本当にありがとうございました。

令和二年 三月一日

在校生代表